

平成15年度ホタテガイ採苗情報（第7報）

平成15年5月23日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「付着が続いています。」

1 ラーバの出現状況

5月21日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、200 μ m未満が87個/トン、200 μ m以上が24個/トンと、前回調査時(合計1,040個/トン)より大幅に減少しています。

なお、調査時の水深10m層の水温は9.7 $^{\circ}$ Cと、前回調査時より約1 $^{\circ}$ C上昇しています。

2 試験採苗器による付着稚貝調査

5月19日以降の調査において、全調査地点で付着稚貝が確認されています。

付着数は、79~13,478個/袋でした。

大船渡地区でも付着数が増加し、概ね全ての地点で多くの稚貝が付着しています。特に、大船渡地区の綾里白浜では、13,478個/袋と、非常に多い値となっています。

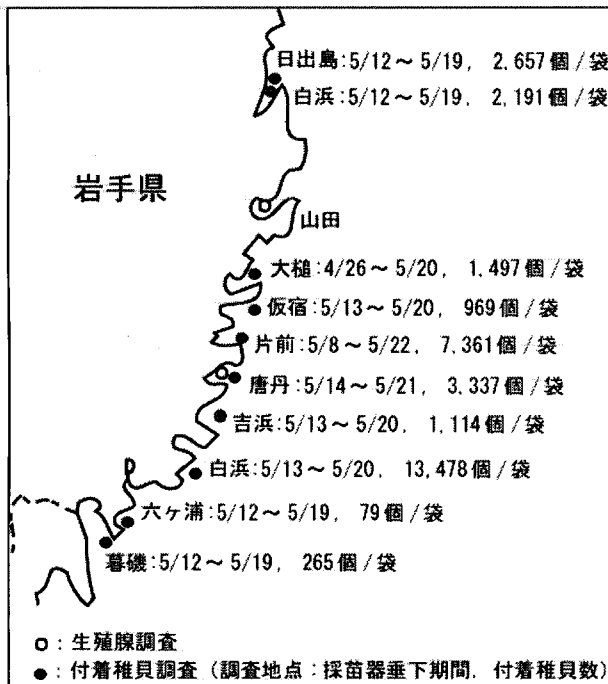


図 調査地点および付着稚貝調査結果

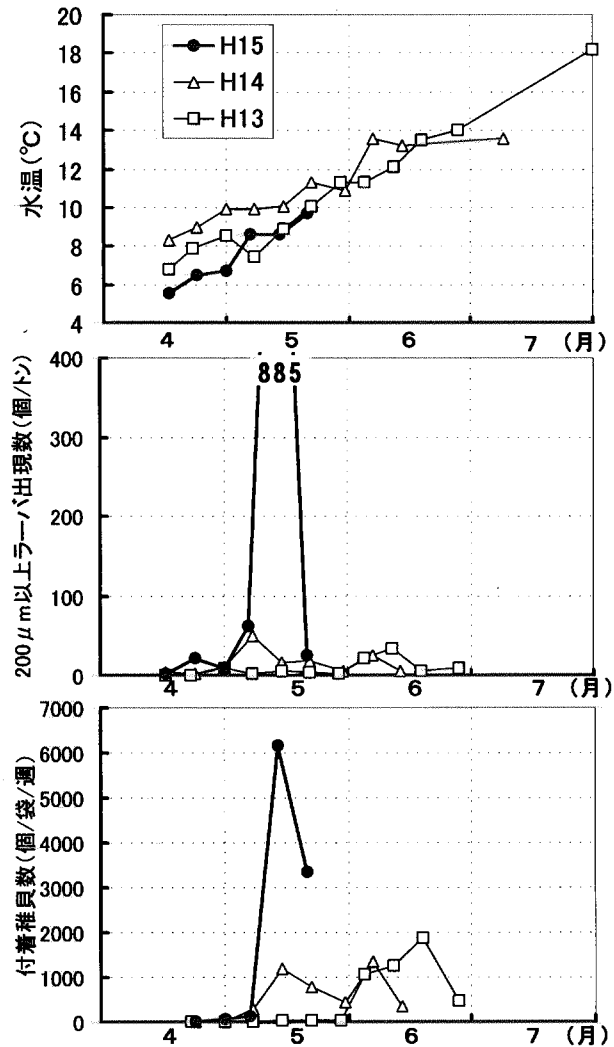


図 唐丹湾における水深10m層水温およびホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

釜石地区では、ラーバ数は減少したものの、依然として付着間近の大型の個体が確認され、多数の付着稚貝も確認されています。

しかも、付着直後の稚貝も相当数確認されていることから、稚貝の付着はまだ続いているものと考えられます。

次報は、5月30日頃発行する予定です。